

|          |  |
|----------|--|
| 研究<br>主題 | <b>互いの気付きを学びに生かせる生徒の育成</b><br>—「書くこと」指導における対話・共有の活動を通して— |
|----------|--|

### 第1学年1組国語科学習指導案

指導月日 令和4年10月26日

所属校名 栗原市立志波姫中学校

氏名 後藤 志保

#### 1 単元名 「根拠を明確にして書こう『写真』の意見文」（東京書籍 新しい国語1）

#### 2 単元の目標

(1) 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。

〔知識及び技能〕(2)ア

(2) 根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)ウ

(3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

「学びに向かう力、人間性」

#### 3 取り上げる言語活動と教材

言語活動 友達の意見文を読み、根拠が明確になっているかについて助言し合う。

（関連：〔思考力、判断力、表現力等〕B(2)ア）

教材 「根拠を明確にして書こう『写真』の意見文」

#### 4 単元観

本単元は、中学校学習指導要領国語科の第1学年の内容〔思考力、判断力、表現力〕B(1)ウ「根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること」を重点指導事項として設定したものである。

本単元では、「事実と考えを区別して述べる」という既習の学習事項を踏まえて、考えを述べる時には根拠を明確にする必要性を学ぶものである。自分の考えや意見を述べる際に根拠を述べることの大切さを理解するとともに、説得力のある根拠を考え、根拠を明確に示して、自分の考えが伝わるように工夫しながら意見文を書く。そして、自分が書いた意見文が根拠が明確に表されているものなのか、その根拠が説得力のあるものなのかどうかについても、振り返ることを通して「書く力」を育ませたい。

また、根拠の大切さを学ぶことで、文章を読む際、根拠に着目して筆者の考えを理解するようになったり、話合いの場においても根拠を挙げて話し合うようになったりと、日常生活への広がりも期待できると考える。

#### 5 生徒の実態〔第1学年1組28名〕

4月実施の標準学力検査教研式NRTでは、「書くこと」における正答率は55.0（全国正答率61.6、全国比89）であった。その中でも「情報を選び構成を考えて書く」内容が54.3（全国正答率63.3、全国比86）と「書くこと」においては一番低く、情報の取捨選択、そして文章の構成を考えて書く力が育っていないという結果になった。また、上位層とそうでない生徒群との隔たりが大きいことも明らかとなり、個別の支援が必要な生徒への手立てを講じながら授業を組み立てていく必要性を強く感じた。

4月に行った意識調査では67.8%もの生徒が「書くこと」を苦手としていることが分かった。7月実施の「食文化」についてのレポートを書く授業では、生徒一人一人が自分でテーマを設定し、それ

に基づき調査を行い、情報を整理しながらレポートにまとめたが。その活動を通して「書くことに前向きになった」、「もっと書いてみたい」と感じた生徒が 88.9%もいた。今回、意見文を書くに当たり行った意識調査の結果は以下のとおりである。

〔意識調査アンケート〕 8月24日実施 （回答生徒数 28名）

|   |          |
|---|----------|
| 1 意見文を書くことが好き（もしくは得意）ですか。   |          |
| 好き 32.2%  | 嫌い 67.8% |
| 2 意見文を書く時に気を付けていること   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをしっかりと書くこと</li> <li>・自分の考えが読み手に伝わるように書くこと</li> <li>・読み手に意見が伝わるような問いかけや構成を意識すること</li> <li>・読みやすくまとめて書くこと</li> <li>・分かりやすく簡潔に書くこと</li> <li>・狭い範囲ではなく、広範囲に広げて考えること</li> <li>・自分と異なる意見の人にも納得してもらえるように書くこと</li> <li>・内容にずれがないかに気を付けること</li> <li>・相手が納得できるように書く</li> </ul> |          |
| 3 どのような意見文が良い意見文だと思うか   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・否定しすぎずに意見が述べられているもの</li> <li>・まとまっていて分かりやすいもの</li> <li>・序論・本論・結論の構成がしっかりしているもの</li> <li>・意見とその理由が書いてあるもの</li> <li>・自分の考えを分かりやすく書いてあるもの</li> <li>・具体的な例が挙げられているもの</li> </ul>   |          |

レポートを書く授業を経て、「書く」ことに対して前向きに捉えるようになった生徒が多いものの、「意見文」に関しては抵抗を感じている生徒が多くいることがうかがえる結果となった。しかし、苦手と感じている生徒の中にも、どのような意見文が分かりやすいものか、どのように書いたらよいかについて理解している、あるいは意識している生徒もおり、意見文の書き方について順を追って学んでいくことにより、自信を持って表現しようとする姿が期待できると考える。

## 6 指導観

意識調査の結果から、「書くこと」を苦手と感じている生徒が多く、特に意見文に関してはその傾向が強い。中学校に入学してから、まだ意見文を書く活動は行っていないが、学級活動などの話し合い活動を見る限り、意見を述べたり、根拠を示したりすることが習慣化されていない生徒が多くいるように感じられる。日常生活においても、意見を求められると答えに窮したり、考えはあるもののその根拠を挙げるができなかったりする姿を多く見かけてきた。その都度、指導や助言をし、できなかった生徒ができるようになってきているものの、意見文を書くとなると、更に身を固くしてしまうことが予想される。

そこで、本單元では、まず意見文を書くためのおおまかな手順を示すことによって、「意見文の書き方が分からない」「どのように根拠を示したらよいか分からない」という生徒への手立てとしたい。また、写真等の視覚的素材を用いることにより、興味を持って取り組み、思考を広げやすいと考えている。その上で、他の生徒の意見文を読み、根拠がしっかり書かれているかどうかを考えることで、どのようなものが意見文としてふさわしいのかに気付かせたい。そして、書いた意見文をみんなで読み合い、助言し合うことを通して、自分の意見文が説得力のあるものであるかどうかについて考えさせ、判断させ、意見文の「書き方」について主体的に学び取らせたいと考える。

## 7 研究主題との関連

研究主題である「互いの気付きを学びに生かせる生徒の育成—『書くこと』指導における対話・共有の活動を通して—」に迫れるよう、以下の手立てを講じていきたい。

対話・共有の場を設定することで、多様な考えや友達の書いた文章の表現に触れ、そこから生まれた気付きを基にして、見方を広げたり、深めたりしていくものとする。以下の具体的な手立てを講じ、互いの気付きが「書くこと」における学びにつながるよう支援していきたい。

### (1) 対話・共有の場の設定

ここでは、書いた意見文を「根拠が明確に示されているか」「示されている根拠に説得力があるか」の観点で互いに読み合い、助言し合う活動を行わせる。自分自身では読み手の視点に立って読むことが難しく、意見文に挙げた根拠が適切であるか見極めるのが難しい生徒でも、他の生徒からの助言を受け、自分の意見文の良い点や改善点に気付くことで、今後の自分の表現活動に生かし、意欲的・主体的に「書く」活動に取り組めるだろうと考えている。また、助言を通しての気付きが理解を深めたり、思いや考えを基に創造したりする深い学びにつながるよう支援をしていきたい。

### (2) ワークシートの工夫

読み合う観点を明示したワークシートを用いることで、助言するポイントを押さえさせる。それにより、どのように助言していくのが明確になり、有効な助言が行えると考える。

### (3) 自分の作品を振り返る場の設定

友達からの助言を受け、どのように自分の意見文を手直ししていくかを考えさせる時間を設け、次時の活動につなげさせる。「できなかった」ことが「できた」という自信を持たせ、これからの表現活動に取り組ませたい。

### (4) 自分の考えを説明する場の設定

自分の作品をどのように振り返ったのか、より良いものにするためにどのように工夫したのかを友達に説明する場を設けることで自分の考えを整理させ、分かりやすく説明するための方法を身に付けさせたい。

## 8 単元の指導と評価の計画

### (1) 単元の評価規準

| 知識・技能                                     | 思考・判断・表現   | 主体的に学習に取り組む態度                                   |
|---|--|---|
| 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。<br>(2)ア | 「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。<br>(B(1)ウ) | 友達からの助言や自らの気付きを生かして表現を工夫し、根拠を明確にした意見文を書こうとしている。 |

### (2) 単元の全体計画

| 時   | 主な学習活動  | 評価規準・評価方法         |
|-----|---|-------------------|
| 1   | ○根拠を挙げて考えを述べることの重要性について理解する。<br>・教材冒頭の問い掛けと目標を理解し、「学習の流れ」を見て見通しを持つ。<br>・学習目標を確認し、学習の流れをつかむ。<br>・「学習の扉」を読み、登場人物のやり取りから、なぜ根拠を挙げて考えを述べる必要があるのかを考える。<br>・意見文とはどのようなものか、どういったことを意識して書くべきかについて確認する。 |                   |
| 2・3 | ○2枚の写真のうち、「大粒の苺を傷めない新型容器を発見」の新聞記事に入れるのはどちらが良いかを考える。   | [知識・技能]<br>ワークシート |

|         |   |   |
|---------|---|---|
|         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事の内容の確認。</li> <li>・2枚の写真の情報の確認。</li> <li>・それぞれの長所、短所を書き出す。</li> <li>・どちらの写真が良いか、自分の立場を決める。</li> <li>・それぞれの長所、短所から根拠として挙げるものを選ぶ。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの長所、短所を書き出しとその根拠の提示</li> </ul>  |
| 4       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○意見文を書く。</li> <li>・前時に選択した根拠を基に意見文を書く。</li> </ul>  | <p>[思考・判断・表現]<br/><u>意見文</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観点を基にした助言</li> <li>・助言を受けての気付きや自分の意見文の見直し</li> </ul>                     |
| 5<br>本時 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○互いの意見文を読み合い、根拠の明確さや考えが伝わるような文章になっているかについて助言し合う。</li> <li>・グループで意見文を読み合い、「根拠が示されているか」「示されている根拠に説得力はあるか」「伝えたいことが明確になっているか」について助言し合う。</li> <li>・助言を基に自分の意見文の良い点、改善点について考え、自分の考えが正確に伝わる文章になるよう工夫する。</li> </ul>                  | <p>[思考・判断・表現]<br/><u>ワークシート</u><br/><u>観察・発言</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観点を基にした助言</li> <li>・助言を受けての気付きや自分の意見文の見直し</li> </ul> |
| 6       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○前時の活動を受けて、自分の意見文を書き直す。書き直したものをみんなで読み合う。</li> <li>・友達からの助言を受け、自分の考えが伝わるよう工夫して自分の意見文を書き直す。</li> <li>・助言を受けどのように書き直したのか、友達に分かりやすく説明する。</li> <li>・書いたものをみんなで読み合い、どのように書き直されたか、根拠が明確になっているか、伝えたいことが明確になっているかについて確認する。</li> </ul> | <p>[主体的に学習に取り組む態度]<br/><u>意見文・観察</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の活動を受けて、表現を工夫しながら、明確な根拠を示した意見文を書こうとしているかを確認する。</li> </ul>      |

## 9 本時の計画

### (1) 目標

意見文を読み合い、根拠を明確にすることの大切さについて考え、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。

### (2) 本時の指導に当たって

本時では、前時まで書いた意見文をグループで読み合う。その活動を通して、根拠の明確さや伝えたいことが明確になっているかについて助言し合い、自分ではなかなか気付きにくい自分の意見文の良い点や改善点に気付き、どのように工夫したら自分の考えが伝わるような意見文になるのかを考えさせたい。



|           |  |        |  |  |
|-----------|--|--------|--|--|
|           | <p>意見文を書いたので上手に書けていた。</p> <p>◆ 友達の意見文を参考にして書いてみようと思った。</p> <p>◆ 根拠が弱かったので、次に書く時は気を付けたい。</p> <p>◆ 文章の構成にも気を付けて書くことが必要だと分かった。</p> <p>◆ 自分の意見と根拠が整理されていなかったの、これから気を付けていきたい。</p> |        | <p>せる。</p> <p>・ 友達の意見文を参考にして、意見文を書く時に大切にすることをまとめさせる。</p>             |  |
| 終末<br>(5) | 6 本時の学習を振り返り、次時の活動につなげる。   | 一<br>斉 | <p>・ 本時のねらいを受けて、自己評価シートに記入させる。</p> <p>・ 次時の予告をし、学習に取り組む心構えを持たせる。</p> |  |

(4) 本時の評価

| 評価の観点                         | 評価規準  | 十分満足できる(A)  | 努力を要する(C)<br>生徒の手立て  |
|-------------------------------|---|---|--|
| <p>思考・判断・表現</p> <p>【書くこと】</p> | 互いの助言を踏まえて、根拠を明確にし、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 | 意見文を読み、根拠の明確さについて助言し合う活動を通して、自分の意見文の良い点や改善点に気づき、どのように手直ししていきが具体的に考えている。 | 個別に読み合うポイントについて分かりやすく説明する。他の生徒の意見を聞き、自分では思い付かなかった点をメモしたり、参考にしたりするよう声掛けをする。 |

(5) 準備物

- ①教師 教科書、ワークシート(別紙1, 2)
- ②生徒 教科書、意見文
- (6) 板書計画

|   |   |
|---|---|
| <p>○ 意見文を読み合う際の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伝えたいことが明確になっているか。</li> <li>・ 根拠が示されているか。</li> <li>・ 示されている根拠に説得力はあるか。</li> </ul> | <p style="text-align: right;">目標</p> <p>意見文を読み合い、根拠が示されているか、伝えたいことが明確になっているか助言し合うことを通して、自分の意見文の良い点や改善点について考えよう。</p> |
|---|---|

国語科ワークシート「根拠を明確にして書く」『写真』の意見文

一年 組 ( 番 )

今日の目標

◎観点ごとにメモを取りながら、意見文を読み合おう。

|                                    |           |           |
|------------------------------------|-----------|-----------|
| 友達の名前 ( )<br>○伝えたいことが明確になっているか。    | 友達の名前 ( ) | 友達の名前 ( ) |
| ○根拠が示されているか。<br>○示されている根拠に説得力があるか。 |           |           |
| ○参考になった点。<br>○さらに良い意見文にするためのアドバイス  |           |           |

【グループで助言し合おう】

◎友達からの助言を観点としてメモしよう。

|                    |                                  |                                    |
|--------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| 【伝えたいことが明確になってくるか】 | 【根拠が示されているか】<br>【示された根拠に説得力はあるか】 | 【参考になった点】<br>【新しい良い意見文にするためのアドバイス】 |
|--------------------|----------------------------------|------------------------------------|

◎友達からの助言を受けて、自分の意見文を見直そう。

新しい良い意見文にするための新しい書き直そうか。

自分の意見文の良い点に気付けた人はそのことも書いて。

Blank rounded rectangular box for writing responses to the second activity.

◎今日の活動を振り返ろう。

意見文を読み合い、自分の意見文の改善点や良い点に気付くよう頑張ったか。

友達の見聞文を読み、助言し合う活動を通じて意見文の書き方が上手になったかや気付いたことを書いて。

Blank rounded rectangular box for writing reflections on the day's activities.

○友達からの助言も参考に、なる友達の意見を基にして、どのよう「意見文を書き直したかを書きまわしよう。

○友達の意見文を読んだり、助言が合ったらその活動を通じて、意見文の書き方について学んだことや気付いたことを書きまわしよう。

○「食文化レポート」や「意見文」の学習において、お互いに作品を読み合ったりアドバイスをもらったりという授業を行いました。その活動を通して気付いたことや学んだことを自由に書きまわしよう。

○中学校に入学してからこれまで、「レポートの書き方」「意見文の書き方」について学習しました。授業を受ける前と受けた後では「書くこと」に関しての意識は変わりましたか。

変わった・変わらない（変わった人はどのように変わったのかを教えてください。

変わっていない人はなぜ変わらなかったのかを教えてください。）